

原市場聖書教会

NO. 810

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 8. 16

主日礼拝

2020年 8月 16日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：本多祐子姉
パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：本多節子姉

賛美	「小さな祈り」	—	同
祈り		司会者	
今月の賛美	「満たしてくださる方」	—	同
使徒信条		—	同
主の祈り		—	同
賛美	聖歌428番「とうとき泉あり」	—	同
献金		—	同
感謝の祈り		本多節子姉	
賛美	聖歌592番「神の子なるイエス」	—	同
聖書朗読	ローマ14章1節~12節	司会者	
説教	「私たちは主のもの」	若村和仁師	
黙祷		—	同
賛美	聖歌484番「たたえよ救いぬしイエスを」	—	同
婚約の証し		本多翔兄	
賛美	「イエスが愛したように」	—	同
婚約式	本多翔兄、森山優美姉	若村和仁師	
頌栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝祷		若村和仁師	
後奏		奏楽者	
報告		司会者	

●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「私たちは主のもの」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

ローマ14章1節～12節

- 1, 信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません。
- 2, ある人は何を食べてもよいと信じていますが、弱い人は野菜しか食べません。
- 3, 食べる人は食べない人を見下してはいけなし、食べない人も食べる人をさばいてはいけません。神がその人を受け入れてくださったのです。
- 4, 他人のしもべをさばくあなたは何者ですか。しもべが立つか倒れるか、それは主人次第です。しかし、しもべは立ちます。主は、彼を立たせることがおできになるからです。
- 5, ある日を別の日よりも大事だと考える人もいれば、どの日も大事だと考える人もいます。それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい。
- 6, 特定の日を尊ぶ人は、主のために尊んでいます。食べる人は、主のために食べています。神に感謝しているからです。食べない人も主のために食べないのであって、神に感謝しているのです。
- 7, 私たちの中でだれ一人、自分のために生きている人はなく、自分のために死ぬ人もいないからです。
- 8, 私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。
- 9, キリストが死んでよみがえられたのは、死んだ人にも生きている人にも、主となるためです。
- 10, それなのに、あなたはどうして、自分の兄弟をさばくのですか。どうして、自分の兄弟を見下すのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つことになるのです。
- 11, 次のように書かれています。「わたしは生きている——主のことば——。すべての膝は、わたしに向かってかがめられ、すべての舌は、神に告白する。」
- 12, ですから、私たちはそれぞれ自分について、神に申し開きをすることになります。

今月の賛美

満たして下さる方

(ヨハネ8:35)

F Dm7 Bb Am7 Gm7

主よわたしは — — — う えかわ — いて — いま — こ — こ — に — 来 — ま

Bb/C C F Dm7

した — — — 主よ あな — た — に — — — りよ う 手あ — げ — て — — — こ

Bb Am7 Gm7 Bb/C C F F/E Dm7 Dm7/C

ころか — ら あが めま — す 主よ あな — た — だ — け が わ

Bb F/A Gm7 Csus4 C F F/E

たしを — み た し て — く だ さ る — か た — — — 主よ あな — た — だ — け

F/D F/C Gm7 Bb/C F

に さ — ん び の う た — を — さ さ げ — ま す

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

私たち人間の大きな課題は、神様との関係の回復です。それともう一つ、実際の生活の中での大きな問題課題となることは、人間関係ではないでしょうか？

それぞれが育った環境や、経験してきたことが基本となることが多いからです。ですから、自分の育った環境と違う文化を持っている人を受け入れられなくなってしまう問題が起こってしまうのです。

2000年以上も前の聖書の時代から人間の本質は変わっていないことは、聖書を読むと良くわかります。ユダヤ人たちは、神の民としてたくさん儀式を守ってきました。もともと、旧約聖書の時代から教えられているモーセの十戒を基本にし、それらを守るために、神の民とされたユダヤ人たちの生活の中にはたくさん「ユダヤ法」という律法が出来上がっていきました。それは、決して悪いことではないのです。本来の神様との良い関係を保つために、人と人との関係においても罪を犯し人を傷つけない為という目的のために律法は作られていったのです。しかし、その本来の目的は、神との良い関係を築くためであったはずが、その目的よりもルールを守るだけが目的となってしまうことが人間社会には起こりえてしまうのです。それらは様々な問題の原因となるのです。ルールに縛られた奴隷状態か、人間の欲望中心に振り回される奴隷状態から人々を解放させるために、イエスキリストが、私たち人間に寄り添い受け入れて下さったのです。愛して下さったのです。しかし、それを体験しても人間は弱いのです。当時のクリスチャンたちも、自分中心に戻ってしまう戦いがあったのです。そこで、信仰の歩みにおいても、それぞれが自分の基準で人を裁き合う問題が起こっていたのです。

1. 信仰の弱い人を受け入れる。 裁いてはいけない。

私たちが、気を付けなければいけないのは、人を受け入れると口先では発言していても、実際は、受け入れていないという問題です。この受け入れると訳されている単語（プロスランパノー）は、「引き寄せる」という意味があります。この単語は、新約聖書で12回だけ使われている単語です。その他には、ペテロがイエス様が十字架へかかることを語り始めた時、イエスをわきに引き寄せた。という時に使われています。また、ローマ15章7節「キリストが神の栄光のために、私たちを受け入れて下さったように」の「受け入れて下さったように」と訳され使われてもいます。というところから、信仰の弱い人を受け入れる。というのは、実際に自分たちの仲間から引き離さない。ということなのです。引き寄せるという行動が伴うことなのです。ですから、口先だけで、受け入れるということはたやすいことです。しかし、口先だけではなく、行動を伴い引き寄せる者になりたいものです。私がまずイエス様に引き寄せていただき、赦され愛され変えられてこそ、弱さを覚える人を受け入れられるようになるのです。

2. 何をしてもよいが、罪に陥る重大な境界線は超えてはならない。

私たちは、なんでもトライすることができます。すべてが許されています。しかし、すべてが得を高めるとは限らないと聖書にこのようにあります。（第一コリント10章23節「すべてのことが許されている」と言いますが、すべてのことが益になるわけではありません。「すべてのことが許されている」と言いますが、すべてのことが人を育てるとはかぎりません。）

私たちは、何をしてもよい赦されている実際にできる。けれども、その目的が何かがとても大切なのです。

この聖書の時代の初代教会では、いろいろな民族の方々が、イエスキリストと出会い罪を悔い改め救われる方がたくさん起こされたのです。神にあって人々が一つになれるとても感謝なことだったのですが、もともと神の民として聖書を伝えてきたユダヤ人たちは厳しい律法を守っていました。しかし、律法主義から解放され、本来の神様の目的に目を向け、儀式ではなく、霊的な礼拝こそが神様の喜ばれる礼拝である。形だけの礼拝が礼拝ではないことが中心となっていく中で、古くからの形を守ってきたユダヤ人たちにとってなかなか受け入れがたいことでもあったのです。そこで教会内に起こった問題は、信仰の強い人も弱い人も、神を求めている動機や目標は同じなのですが、表し方が違ったのです。しかし、その表現の違いで裁き合ってしまう問題が起こっていたのです。これは、今現代の教会でも伝統を重ねた教会であるほど起こってしまう問題です。ここで大切なことは、それぞれの本来の動機が正しいかどうか重要であって、偶像にささげた肉を食べたか？食べていないか？が重要なのではないのです。偶像にささげた肉が汚れることはないのです。そもそも、偶像は神様ではないです。人間が作り出したものにしかすぎないからです。しかし、それを恐れていて食べないと決めている人は食べなければよいだけの話なのです。しかし、強く正しい情報を知っているものが、食べることは何も問題もないのです。ただ、信仰の弱い人のことを無視し躰くようなことはしてはならないのです。

3. 私たちは主のもの（創造主なる神様のもの）

私たちは、どんぐりの背比べをやめ、自分の形と違う人を裁くことをやめなければならぬのです。もちろん、神様が厳しく教えて下さっている罪との境界線を越えるような場合は、愛をもって忠告することは大切です。愛をもって忠告しなさいと書かれている御言葉（マタイ18:15「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。・・・」）ともあります。

私たちすべて原点は、神様によって命与えられた存在です。だからこそ、お互いを自分のもののようにするのではなく、自分も含め神から与えられた尊い命であることを覚え、主を第一に求め、主によって創造された尊い命である隣人を大切にすることから私たちの霊的成長は始まるのです。

神に生かされている感謝を忘れ、自分の力で生きてきた、自分の力で人を助けた。だから自分を評価してほしい。ということばかりに目を向けるなら、どんな境遇であろうと揺るがない平安と、喜びはいつまでも体験できなくなるのです。

●まとめ

★「私たちは私のものでなく、主のもの」

1. 私たちは主に受け入れていただき愛され赦されたことを忘れない。
2. 信仰の友が大きな罪の境界線を越えないよう祈り愛し受け入れることが大切。
3. 私たちはすべてが許されているが、第一コリント10章23節「すべてのことが益になるわけではないこと」を忘れず、罪との大きな境界線は越えてはならない。

原市場聖書教会牧師 若村和仁

報 告

- ★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。
- ☆体調不良の方は、礼拝出席を無理せず zoom にて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。
- ☆ここ最近感染拡大が心配されます。礼拝中の賛美ですが、番数を減らし礼拝をお捧げしたいと思います。ご理解ご協力お願いいたします。
- ★8月以降の予定
昼食は8月中もお休みいたします。zoomでの礼拝中継はしばらく継続する予定です。
- ★礼拝以外の集会再開予定
・赤毛のアンは9月から再開予定です。その他の集会は7月より平常通り行っています。
- ★夏期特別献金の封筒をご用意いたしました。祈り心をもってお献げくだされば感謝です。
- ★本日は本多翔兄と森山優美姉の婚約式を礼拝の中で執り行います。お祈りください。

先週の newcomers

辻文香さん 辻充晋さん

8月の誕生日

8月3日 本多悟兄 8月8日 若村真理歌ちゃん 8月25日 本多祐子姉

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

・8月19日～8月20日（水～金） NPO 法人あまやどり奉仕 （場所：高麗聖書教会）

本日午後の予定

☆礼拝後昼食会はありませんが自家焙煎珈琲をご用意しています。
お自由にお交わり下さい。

次週（8月23日〈日〉）

司 会：本多崇兄

聖 書：ローマ14章13節～23節

説 教：「私たちが求める大切なこと」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：「You are my all in all」 今月の賛美「満たして下さる方」

聖歌296、聖歌413、聖歌480、聖歌383

受 付：渡辺恵姉 献金感謝祈祷：本多節子姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
8月9日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3人	9人	12人	24人
		(礼拝はオンライン参加者2名を含む)			
	夕 礼 拝		お休みでした。		
8月12日（水）	祈 り 会		おやすみでした。		

集会案内

8月19日（水）	祈 り 会	お休みです。
8月23日（日）	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

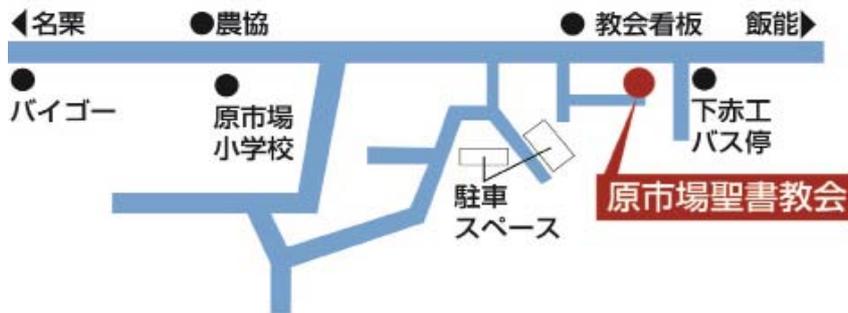
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか

わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁